

# まるりん通信

発行 公益財団法人屋久島環境文化財団 電話 0997-42-2911



## 第2回 屋久島研究講座

テーマ：地震・噴火・津波

日時：令和元年8月22日（木）

受付 18:30～ 19:00～20:30

### 「屋久島の自然史」

場所：屋久島離島開発総合センター（宮之浦）

講師：鹿児島大学准教授 井村隆介氏

世界自然遺産の島、屋久島の豊かな自然は、一朝一夕にできたわけではありません。屋久島の自然は、島の地理的位置、地形・地質に加え、汎世界的な気候変動などによって作られたものです。

本講座では、屋久島を含む南九州における、ここ数十万年間の気候変動、海水準変化、地殻変動などの歴史と、屋久島の自然環境の成立について紹介したいと思います。

★申込先：屋久島町教育委員会教育振興課（Tel0997-43-5900）

※受講証明書の必要なガイドの方は上記に申し込みを行った後、必ず前日までに屋久島環境文化財団（Tel0997-42-2900）までご連絡ください。

### ★9月セミナー『魅力発見 やくしま旅』

屋久島で「遊ぶ」ということは、自然と関わるということ。自然に「溶け込む」ということは、自然と深くつながるといこと。屋久島でそんな時間を過ごしてみませんか。

日程：9月14日（土）～9月16日（月）

募集人数：20名（先着順）

対象：18歳以上

申込締切：9月6日（金）

参加費：20,000円（宿泊費、食事代、保険料など）

内容：屋久島北部巡り、黒味岳登山 or 岳参り体験（前岳）&amp; 西部巡り など

問合せ：研修センター Tel 46-2900（担当：丸山）

### ☆交流ホール 展示

『マザー・テレサ写真展』世界で一番たいせつなあなたへ～マザー・テレサからの贈り物～

主催：マザー・テレサ写真展実行委員会

期間：8月24日（土）～9月1日（日）

各日 9:00～17:00（最終日は15:00閉場）

場所：屋久島環境文化村センター 交流ホール

※入場無料です。

◎特別企画 8月29日（木）

・講演会

・ミニコンサート

※詳細は主催の実行委員会にお問い合わせください。Tel 080-7694-9276

mail:m.teresa.shashinten826@gmail.com

### 休館日

村センター 9/2（月） 9/9（月） 9/17（火） 9/24（火） 9/30（月）

研修センター 9/2（月） 9/9（月） 9/17（火） 9/24（火） 9/30（月）



## インストラクターだより

### 『鳥の巣材の意外なモノ』

インストラクター 本間 詩織

先日、研修センターの近くで鳥の巣を拾いました。大きさは約 15 cm。先月の風雨の影響で落ちてきたものだと思います。何の鳥の巣かはわかりませんが、何気なく裏面をひっくり返したら、一面がコケで覆われていたのです。

鳥の巣に使用されている材としては、木の枝や葉っぱが一般的ですが、日本ではコケを巣材として利用している鳥が約 30 種類いるといわれています。その中で、屋久島にも生息しているカワガラスが、コケを巣材として利用しているといわれています。

コケを巣材にする利点のひとつは、カモフラージュとしての効果があります。一般に植物の葉や茎は、ちぎってしまうと時間が経てば変色してしましますが、コケはちぎっても条件が整っていれば生き続けることができます。苔玉のように青々としているので、巣の存在が気付かれにくくなります。もうひとつは、水辺に巣を作る時、材が腐りにくくなります。コケは湿り気を好むため、適度な湿度であればふわふわとした材を保つことができます。

生き物の“本能”と言ってしまえば簡単ですが、環境に合う最適な材を見つけて巣を作ることは、驚くものがあります。生き物たちが自然の中で生きる力を、観察を通して感じたり考えたりしてみたいはかがでしょうか。



写真 鳥の巣（裏）

## 財団活動報告

### ●むらせん祭り 7/14

7/14（日）文化村センターの23周年を記念してむらせん祭りを開催しました。工作活動・まるりんとの撮影会、映画上映会などを行い、多くの方にご来館いただきました。



### ●一湊の海辺で自然観察会×ビーチクリーン×里めぐり 7/7

日本自然保護協会様（主催）とシャボン玉石けん株式会社様（共催）のご協力のもと、一湊の海辺で自然観察会・ビーチクリーン活動・里めぐりを実施しました。活動を行う中で、自然のしくみや人の暮らしを学ぶことができました。



### ●夏を楽しむエコツアー 7/13

「夏を楽しむエコツアー」に、9名の方にご参加頂きました。当日は天候にも恵まれ、元浦海岸での海中散歩を存分に楽しむことが出来ました。参加された方からは「ウミガメに会えて良かった」「自分たちでもシュノーケリングをやりたい」といった声を頂きました。この度はご参加ありがとうございました。

## 屋久島を想う

### 研修センター 小菌正臣

屋久島の山、木々に囲まれて、ふと周りを見ると、自然との出会いをもとめて歩きたくなる。鹿や猿、鳥たち、風にゆられる木の葉や流れる水の音。



ふと上を見ると、大きな木々が私を見下ろす。自分自身の小ささと自然の偉大さ、包み込む懐の深さを感じる。目を閉じて、心を静め、耳を澄ませば、何か力をもらえそう。

ふと下を見ると、何かゴソッと動いた。しゃがんで小さい小さい生き物を探す。すばしっこい小さな生き物に大の大人が振り回され、しまいには見つけることができず、フーッと大きな息を吐き、諦める。

屋久島の海、波にゆられて、水中メガネを通して、底を見てみる。到底、足の届かない深さ。魚たちは、私がそこまで行けないことを分かっているのか、悠々と泳いでいる。ライフジャケットの力を借りて、波に身を任せ、空を見上げる。広いウォーターベッドに寝ながら、澄み切った空をボーッと見ていると、顔に波がかかり、ふと我に返る。水面から目だけ出して、遠くをみる。水平線の先はどうなっているんだろう。

屋久島に来て4ヶ月が過ぎました。私の「屋久島よかところ探し」は始まったばかりです。いろいろな屋久島をいろいろな角度から見て、楽しみ、それを多くの人たちに伝えていきたいです。